

ダイジェスト版

金沢の  
農業と森づくりプラン  
2025

金 沢 市

# 1

## プラン策定の趣旨

- ・金沢の農業と森づくりプラン 2025 は、「金沢の農業と森づくりプラン（平成 19 年3月策定）」策定後の農林業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、金沢の農林業の持続的な発展と農山村の活性化を推進するための基本方針と重点施策を明確にしたプランです。
- ・このプランは施策の進捗状況や目標の達成状況等を定期的に把握・検証し、必要に応じて施策を見直すなど、PDCA サイクルによる進行管理を行いながら、より効果的な施策や事業の展開を図ります。

### 金沢の農業と森づくりプラン（平成 19 年3月）

#### 【農業】

- ・農業に携わる担い手不足
- ・農地の荒廃の進行
- ・消費者ニーズの多様化
- ・農山村の過疎化
- ・鳥獣被害の拡大 等

#### 【森づくり】

- ・森林所有者の経営意欲の低下
- ・森林の荒廃の進行
- ・人工林収穫期の到来
- ・森林の持つ多面的機能に対する関心の高まり 等

### 金沢の農業と森づくりプラン 2025

(平成 28 年 3月策定 )

目標年次：令和 7 (2025) 年度

“世界の「交流拠点都市金沢」重点戦略計画（平成 26 年2月）” に基づく、農林業の振興計画として位置づけ、本市農林業の健全な発展に向けた総合的かつ計画的な取組の指針

# 2

## 施策の体系

### 7つの基本方針17の重点施策

#### 農業

##### I 多様な担い手の育成・確保

1. 地域農業の中心となる担い手の育成
2. 次世代を担う農業者の育成
3. 生産力向上のための基盤の整備



##### II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大

1. ニーズに即した農産物の安定生産
2. ブランド力の向上と販売促進
3. 地域に根ざした地産地消の推進



##### III 活力ある農山村づくり

1. 農山村のもつ多様な役割の維持・発揮
2. いきいきとした農山村地域の形成



#### 森づくり

##### I 健全な森林の育成・整備

1. 森林の適正な管理・保全・整備の推進
2. 効率的で持続可能な林業経営の実現
3. 病虫害及び獣害対策の推進



##### II 森林資源の活用拡大

1. 金沢産材の利用拡大
2. 未利用森林資源の活用



##### III 森づくり活動の推進

1. 森に親しむ活動の推進
2. 市民や企業等との協働による森づくりの推進



##### IV 森林環境譲与税の適正な活用

1. 森林経営管理制度の適正な執行
2. 森林環境譲与税活用検討会における提言の具現化



# 3

## 金沢市の農業のめざす方向 「希望と誇りの持てる強い農業へ」



基本方針と重点施策		施策の方向	具体的な取組	主な目標 (H27→R7) ※印はR3に目標の見直しを実施した項目		
I 多様な担い手の育成・確保	1. 地域農業の中心となる担い手の育成	① 認定農業者・集落営農組織等の育成	経営の複合化や多角化の推進 集落営農の組織化・法人化への推進支援 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定農業者数 (210→260 経営体)</li> <li>● 集落営農組織数 (22→39 組織※)</li> <li>● 人・農地プラン実質化数 (-→81 プラン※)</li> <li>● 担い手への農地集積率 (50→75%)</li> </ul>		
		② 担い手への農地集積の推進	人・農地プランの作成 農地中間管理機構の活用 等			
	2. 次世代を担う農業者の育成	① 新規就農者・異業種等の参入促進	金沢農業大学の運営の強化 地域や産地における受入体制の整備 等		● 新規就農者数 (173→200 人/10年)	
		② 地域農業を支える労働力の創出	農作業ヘルパー・ボランティアの育成 農業インターンシップの推進 等			
	3. 生産力向上のための基盤の整備	① 生産基盤整備の推進	大型圃場整備の推進 水田の汎用化の推進		● 圃場整備率 (30a程度区画以上) (42.9→50.0%)	
		② 農業用施設の長寿命化の推進	農道や水路、ため池等水利施設の長寿命化の推進			
	II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大	1. ニーズに即した農産物の安定生産	① 品質向上と生産拡大による産地の強化		新品目・新品種の導入 ニーズに対応した生産の推進 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売れる米づくり取組面積 (245→370ha)</li> <li>● 1等米比率 (84→90%以上)</li> <li>● 金沢ブランド農産物栽培面積 (495.4→505ha)</li> <li>● 加賀野菜(大量品目)の秀品率 (51.6→60%)</li> <li>● 環境保全型農業の取組面積 (52→100 ha)</li> </ul>
			② 安全・安心な農産物の供給		有機農業の推進 減化学肥料・減農薬栽培の普及 等	
		2. ブランド力の向上と販売促進	① 金沢ブランド農産物の情報発信		ブランド品目の検討 機能性の活用に向けた調査・研究 等	
② 農商工連携による農産物の販路の拡大			食品メーカー等との共同企画の実施 加工品開発や販路開拓に向けた支援 等			
3. 地域に根ざした地産地消の推進		① 金沢産農産物の利用拡大	学校給食や社員食堂等での利用拡大 料理講習会の開催 等	● 学校給食への金沢産農産物の使用品目数 (31→40品目) ● 市民と生産者との交流回数 (130→180回) ● 小学校の農業体験実施割合 (80→100%)		
		② 市民との協働による地産地消と食育の推進	市民と生産者との交流会の開催 多様な農業体験活動の実施 等			
		③ 金沢の食文化の継承と魅力発信	全国伝統野菜サミットの開催 講習会等を通じた伝統料理の伝承 等			
III 活力ある農山村づくり		1. 農山村のもつ多様な役割の維持・発揮	① 地域ぐるみによる農地等の保全	日本型直接支払制度の活用 近隣の複数集落が連携した農地等の保全活動の推進 等	● 日本型直接支払制度の取組面積 (2,564→2,740 ha) ● 中山間地域活性化ビジョン策定集落数 (32→36 集落※) ● 集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組む集落数 (41→120 集落※)	
			② 地域コミュニティの維持・醸成	地域の拠点整備 地域づくりのコーディネーターの育成・派遣 等		
	③ 鳥獣被害の防止対策の強化		集落ぐるみで取り組む鳥獣害対策の強化・支援の拡充 捕獲従事者の育成 等			
	2. いきいきとした農山村地域の形成	① 新規就農者等の誘致による移住・定住の促進	空き農家・農地バンクの整備 空き農家改修支援制度の検討 等	● 中山間地域への移住定住世帯数 (-→30世帯※) ● 1地域1作物特産化 取組地区数 (8→12地区※) ● 市民農園等の設置箇所数 (16→20箇所※)		
		② 地域資源の有効活用による活性化	1地域1作物特産化推進 朝市・直売所開設支援 等			
		③ 都市住民との交流の推進	滞在型市民農園の整備 オーナー制農園の検討・導入 等			
		④ 都市農業の取組の推進	福祉農園・市民農園の整備 防災対策の推進 等			





基本方針と重点施策		施策の方向	具体的な取組	主な目標 (H27→R7) ※印は R3 に目標の見直しを実施した項目
I 健全な森林の育成・整備	1. 森林の適正な管理・保全・整備の推進	①計画的な森林整備の推進	森づくりの方向性を示す「森林区分」の明確化 森林区分に応じた整備の推進 等	●森林整備面積 (市営造林地除く) (160→200ha/年) ●竹林伐採面積 (13→20ha/年) ●森林所有者向け公開講座の開催数 ( - →3回/年) ●金沢産材供給量 (2,077→2,500 m³/年) ●林内路網整備延長 (13,487→15,000 m/年) ●高度技術研修の開催数 ( - →3回/年) ●里山特産品の品目数 (2→5品) ●抵抗性マツの植栽本数 (13,640→30,000 本※) ●緩衝帯整備町会数 (15→25 町会)
		②森林境界の明確化と相続手続きの促進	境界明確化の推進 森林所有者の相続手続きの促進 等	
		③荒廃竹林対策の拡充	地域住民等の連携による伐採竹処分促進 エネルギー源としての伐採竹の活用 等	
		④森林所有者に対する啓発	林業大学校の拡充 私有林整備にかかる支援策の周知 等	
	2. 効率的で持続可能な林業経営の実現	①森林整備の低コスト化の推進	高性能林業機械の導入支援 林内路網整備の推進 等	
		②ICTの活用	森林総合情報システムの高度化 現場作業におけるタブレット端末の導入促進 等	
		③優れた技術者の育成	伐採や搬出作業等に関する技術者の育成支援 「森林施業プランナー」の育成支援 等	
		④特用林産物の生産振興	特用林産物の生産基盤強化等に対する支援の拡充 里山食材を活用した特産品の導入推進 等	
	3. 病虫害及び獣害対策の推進	①松くい虫対策の強化	薬剤散布と樹幹注入による被害防止対策の実施 抵抗性マツの新植と適切な保育管理 等	
②クマ等野生獣対策の強化		人とクマとのすみ分けを目的とした緩衝帯の整備促進 SNS等を活用した、より効果的なクマ出没情報の発信 等		
II 森林資源の活用拡大	1. 金沢産材の利用拡大	①公共利用の拡大	公共建築物の木造化、内外装の木質化の推進 等	●ぬくもりの教室整備数 (26→60 校) ●公共事業における木材使用量 (460 →700 m³/年) ●柱使用本数 (木の家奨励事業) (132,365→276,000 本) ●公共施設での木質ペレット使用量 (25→10t※)
		②民間需要の更なる開拓	「木のある暮らしづくり奨励事業」の推進 店舗やオフィス等民間施設における木材利用の促進 等	
		③利用拡大に向けた情報発信	インテリアコーディネーター等を対象としたセミナーの開催 イベント等でのPR強化 等	
	2. 未利用森林資源の活用	①林地残材等の利用拡大	収集・運搬の効率化の検討 木質ペレット等によるエネルギー利用の普及促進 等	
		②新たな利用方法に関する情報収集・研究	CLTなど新たな木材加工技術の導入促進 等	
		③「金沢の森育」の推進	「森づくり出前講座」の充実 森育コーナー「森のあそび場」の設置 等	
III 森づくり活動の推進	1. 森に親しむ活動の推進	②森と触れ合う機会の創出	森と触れ合う場の整備と利用促進 等	●出前講座開催数 (24→40回/年) ●森林イベント参加者数 (4,100→8,000人/年) ●森づくりサポートバンク登録者数 (5,749→10,000人)
		③森からの魅力発信	SNS等を利用した情報発信の推進 等	
		①市民や企業等との協働による森づくりの推進	①市民協働の森づくりへの支援 企業や学生、NPO等が取り組む森づくり活動への支援の拡充 等	
IV 森林環境譲与税の適正な活用	1. 森林経営管理制度の適正な執行	①森林経営管理法に基づく林業の振興と森林資源の適正な管理	森林所有者と林業事業者をつなぎ林業経営を推進 林業経営に適さない森林は市が自ら管理を実施 等	●意向調査の実施 ( - →5区域 (全17区域のうち)※) ●森林経営管理権集積計画の策定面積 ( - →20ha※) ●森林環境譲与税を活用した新規施策数 ( - →10施策※)
		2. 森林環境譲与税活用検討会における提言の具現化	①基本理念「森からはじまる金沢のミライ」の実現	



## 金沢の農業と森づくりプラン 2025

平成28（2016）年 3月策定  
令和4（2022）年 3月改訂

発行 金 沢 市

編集 金沢市農林水産局

〒920-8577 金沢市柿木畠1番1号

電 話（076）220-2214（農業水産振興課）

F A X（076）222-7291

E-mail [nourin\\_s@city.kanazawa.lg.jp](mailto:nourin_s@city.kanazawa.lg.jp)